

月刊
さわやか

第36号
平成22年4月15日

《発行》
(社)日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

「公益法人制度改革への対応めざして」 第59回定期総会を実施

平成22年度事業計画・一般会計予算案を承認

第59回定期総会は3月25日午前、七生公会堂で開催されました。最初に、公務の都合上、名誉会長である馬場弘融日野市長の挨拶、田原茂日野市議会議長の祝辞をいただきました(挨拶、祝辞要旨は3面)。

審議では、平成21年度一般会計補正予算第2号(案)、平成22年度事業計画(案)、平成22年度一般会計予算(案)の3議案、および報告事項として就業規約の一部改正の説明を受け、これらを承認しました。

次いで、北村讓司会長が挨拶をおこない、新公益法人制度への改革を機に、時代に即した新しい「日野市シルバー人材センター」をめざす決意を表明しました。挨拶大要は2面)

続いて会員祝賀。平成21年度中に80歳になられた会員26名(入会后3年経過が条件)が対象で、総会に出席された小川吉久氏(新井高幡班)ら8名に一人づつ、北村会長から賀状が手渡されました。(3面で氏名紹介)

総会議事の他の事項は、次のとおり。

資格審査報告
本日の会員数 1738名
本日の出席者 194名
委任状提出者 932名
合計1126名(64.8% = 過半数)で総会成立

議長団の選出
議長 = 金田春雄氏(日野本町)
副議長 = 棚瀬鐵男氏(日野4)

会員数

平成22年2月28日

1,718名
男性 1,313名
女性 405名
入会者数
2月 25名
(男19名、女6名)
但し、退会者28名

公園管理の就業年齢 上限を75歳に改正

4月1日から、公園作業の就業終了時年齢が73歳から75歳に改正されました。これは植木草取り、草刈班が75歳を以って就業を終了することに合わせたものです。当センターでは、事故防止の観点から、必要がある職種について就業年齢を設定し、安全性の確保を図っております。(事務局)



熱心に総会議案を審議する参加者

理事・監事選考委員7 名を選任

理事会は3月31日、次の理事・監事選考委員7名を選任しました。

- 安藤義男 = 理事 副会長
- 池田和宣 = 常務理事
- 渋谷善子 = 理事 広報部会
- 山本 寛 = 理事 総務部会
- 井口義雄 = 有識者(日野)
- 横関文男 = 有識者(豊田)
- 酒谷壽夫 = 地域班長(落川 古草)

この選考委員会は平成23年度以降の役員を選考するもので、自薦、他薦を問わず理事立候補の意思のある方は、4月23日(金)までに事務局にご連絡ください。

平成22年度会費の引き 落としについて

自動振込みの手続きをされている会員さんにつきましては、4月26日(月)に郵便局より、2000円を引き落としさせていただきます。

手続きをされていない会員さんにつきましては、改めてご案内させていただきます。

(事務局)

今回6ページ建て

第59回定期総会

北村会長の挨拶



挨拶する北村会長

本日は、平成22年度の事業計画、予算案等をご審議いただきわけですが、22年度計画の中心は公益法人制度改革への対応です。今回の改革は民間の公益活動を活性化させ、その分野を強く、大きくするのが目的です。

その方向は、団体の自治の尊重であり、透明性の高い運営であり、制度の国際標準化です。新公益法人には、ガバナンス、財務基準、情報公開、法令順守などの経営ルールがきびしく求められています。ゆるい運営でなく、まさに経営が求められているのです。

われわれ東京都のシルバ人

材センターは、上部団体である東京都シルバ人材センター連合の主導のもと22年後半に公益認定の申請をおこない、23年度より新公益社団法人としてスタートするべく新法の求める定款変更をはじめ諸規定の見直し、機関設計、財務会計の整備などの準備作業をおこなっております。

われわれ日野市シルバ人材センターは、それらの作業を上半期中に終え、9月に予定している臨時総会で皆様にお諮りいたしましたと思います。

われわれを取り巻く社会状況は厳しいものがあります。国、自治体からの財政支援は薄くなる傾向にあり、また、民間企業やNPO等競合者の増加など、シルバ人材センターの経営環境を圧迫してきます。

われわれは、新公益法人への変革を機に、この状況を克服すべく発想の転換をはかり、時代に即した強い体質の新しい日野市シルバ人材センターを作り上げるよう努力してまいります。

皆様方には、このような時代、環境の変化をご認識いただき、ご理解とご協力をお願いしましてご挨拶いたします。



討議に参加する地域班長さんたち

第6回地域班長会議

6地域班で班長交代

平成21年度第6回地域班長会議が3月11日、生活保健センターで開かれました。冒頭、北村会長が挨拶で「新公益法人制度への作業を4月から始め、9月臨時総会で皆様に諮ります」とのべました。

次いで、各部長、安全管理委員長長の報告。事務局からは事業実績の説明がありました。

質疑応答では、とくに補助金の減額、それに伴うワークシェアリング、事業開拓などの問題が取り上げられました。

なお、今年度末で6名の地域班長が退任しますが、うち5名の班長が一言づつ挨拶し、暖かい拍手が送られました。(4面参照)

理事会二ニュース

第13回理事会 3月31日

審議事項 正会員の入会、理事 監事選考委員の選任、就業年齢の設定に関する規程の一部改正

報告事項 S C所有情報の管理、リサイクルフェアの開催

入会案内説明会の実施日、等

「センター行事日程」

4月18日(日) 多摩川・浅川 クリーン作戦

5月28日(金) 第60回定期総会 七生公会堂

5月29日(土) リサイクルフェア リサイクル事務所

人事往来 事務局の嘱託職員であった高橋美江さんが3月31日付で退職、また事務局臨時職員として川澄純子さんが3月7日付で採用されました。

配分金の支払日

- 4月20日(火)
- 5月20日(木)
- 6月18日(金)
- 7月20日(火)
- 8月20日(金)
- 9月17日(金)
- 10月20日(水)

第59回定期総会

馬場市長の挨拶



馬場市長

日野市シルバー人材センターには、公共施設の管理、市内事業所の手伝い、家庭の手伝い等、多くの分野を担っていただいています。内部でも各種研修や、お互いを高め合う教室等も充実しています。多摩川浅川クリーン作戦や、子供達の放課後の見守り、声かけパトロール。これらはボランティアのリーダーとしての活躍でもあります。

きるのではないのでしょうか。シルバー人材センターの活躍はまさに「公民協働」を先がけているものではないかと感謝しております。

不況の克服がなかなかできない加えて、新しい政権ができ、「事業仕分け」など、シルバー人材センターの方々にとっては厳しい対応があります。

公益法人の流れができ、新年度中には方向付けしたり、更に効率化したりと、難しい時代を運営して行くことになるかと思いますが、行政としても会員の皆様の活動の支えをしていきたいと思っています。

田原市議会議長祝辞

日野市の65歳以上の人口は、全体の20.6%を占めています。

日野市シルバー人材センターは昭和54年に発足して以来、生きがい対策、社会貢献の場として30年を経過してきましたが、新しい技能習得のパソコン教室やリサイクル事業を通して発展していることには、敬意を表しております。

また、日野市シルバー人材センターの平成20年度の実績が6億円と知り、これは社会の中で「労働力」としても認知されるもので

Table with 2 columns: Name and Address. Lists members and their home addresses.



田原議長

す。

さらに、公共部門での仕事が全体の45%を請け負っていることや、いろいろなボランティア活動をされていることなどは、高齢者対策の要の事業として、市議会でも支援を約束したいと思えます。

（馬場市長の挨拶と田原市議会議長の祝辞は、ともに紙面の都合で要旨を掲載させていただきました。）

『シルバーひの』7月号

原稿募集

次の原稿を募集します。掲載分には薄謝を進呈します。

締切り日：5月末日

表紙の写真 題材は風景花、樹木を含む。ただし縦位置。会員の撮影に限りません。

こんな仕事をしてます

従来の「就業体験記」ご自身の仕事の紹介、就業の感想、特異な体験など。できれば写真付き。600～800字。

会員の声 会員の皆様の生活、活動、就業を通しての意見 感想。内容・形式は自由。200～400字。

私のふるさと 新設コーナー。昔の郷里の思い出、変わった風習、美味しかったもの等々、何でも結構。郷里の地名を明記。できれば写真付き。400～600字。

お問合せ・原稿受付は事務局（担当・鶴川）まで 581 8171

3・7全地域班一斉清掃 2班が雨天決行

3月7日雨天中止となつた全地域班一斉清掃は、2地域班新井・高幡班と万願寺2班で決行しました。両班の班長さんに当日の状況を聞きました。

新井・高幡班〓土方正作班長

当日は早朝から降り続いていましたが、念のため「2袋を用意して集合場所に向くと、4名の會員の姿がありました。一斉清掃で仲間と会えるのを楽しみにしていた會員もいて、途中で雨宿りできることもあり、作業を始めました。雨天で人通りも少なくて作業がやりやすく、濡れた吸殻を手で

拾い集めたり、工事用のボールが車につぶされて散乱しているのを回収したりしました。

1時間をオバしました。参加者は濡れるのを気にもとめず、終了時は満足そうでした。

万願寺2班〓桑原重興班長

問い合わせてきた會員には「雨天中止」と伝えましたが、時間に集合場所に行くのと、近くに住む會員が6名集まっていました。その方々の積極的な意欲を重視して、15分くらいの短い時間でしたが、大木島公園周辺の「〓を拾い集めました。雨天中止の決定は班長に任されていますが、判断が難しいときもあります。

<2面関連>

班長交代がおこなわれた6地域班

地域班	新任の班長	退任された班長
新町	吉野 久忠	田村 隆道
神明	賀来 英紀	名取 孝恭
大坂上	遠山 文男	原田 松夫
東平山	長尾 豊彦	中嶋 宏司
西平山	倉澤 博	今泉 孝一
鹿島・南平	水橋 桂一	小川 寿二郎



昨年7/19の一斉清掃に集結した高幡台班

職場訪問

平山交流センター

平山交流センターでは受付業務に9名、管理業務に6名の当センター会員が就業しています。うち管理就業者が休館日の3月8日、職場会議を開きました。

管理業務運営要領(マニュアル)の確認と見直し、それに伴う話し合いのためです。岩田・職場リーダーのもと、鈴木・由中・中村・長井・松坂の各氏が出席。さらに、平山図書館の小松館長にも同席していただきました。

この施設全体は「平山季重ふれあい館」といい、図書館、平山交流センター、子育てひろば平山を収容。図書館のほか企業公社と市協働課の管轄下にあります。

平山城址公園駅のすぐ前にある建物なので、本来の目的に沿わない利用者が多く、そのため設備に不具合が起きるトラブル・マナーに関する問題が多々あります。

館内業務のほか駐車場管理、自転車整理も

たとえば、トイレだけを利用する人や、交流センターの駐輪場を



平山季重ふれあい館

通勤用の自転車置き場にしてしまつています。この日も休館日なのに70台の駐輪がありました。管理担当の人たちは館内業務と駐車場管理のほか、日に数回、道路にまではみ出している自転車の整理もしています。

平山交流センターが、どうしたらマナーの良い使い方をしてもらえるか、いろいろ試みています。小松図書館長にも相談をもちかけたり、予算問題も含め一緒に対策を考えたりしています。

高木 統括リーダーも、同日午前開かれた受付就業者の会議に参加した後、こちらの会議にも出席、意見を聞いたり、アドバイスをしたりしていました。

互助会的事業への補助打切りについて

新たな公益法人制度への移行に伴い、東京都の58シルバ人材センターは、公益目的事業を行う公益社団法人の認定申請に向けて準備を進めています。

公益目的事業とは、公益法人認定法上の概念であり、「学術、技芸、慈善その他の公益に関する事業であつて、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの」をいいます。(同法2条4号)

会員相互の親睦のための補助、例えば親睦を目的とした会員バス

旅行の補助等が公益目的事業に値するかといえ、会員バス旅行の補助といつのは、会員に対してのみ行っている事業でありノーと言わざるを得ません。

公益認定申請に向けた定款の改正(案)の中にも、従来の「就業機会の確保と提供」に加え「社会奉仕活動等を通じた、生きがいの充実及び社会参加の推進」が必要なる事業の位置づけとなつています。

(事務局)

リサイクル・フェア 5月29日に開催 出店者を募集

リサイクルフェアを左記の要領で開催します。会員の皆様の個人・団体による出店を募集します。

日時 = 5月29日(土)

午前10時～午後2時

場所 = リサイクル事務所

(万願寺6 5 6)

出店申込み = 5月7日(金)までに
出店内容を添えて事務局へ

(581 8171)

出店料 = 売上額の10%



前回のリサイクル・フェアから (H21.9.26)

会員作品発表会 今年度は見送り

上記の互助会的事業への補助打ち切り方針により、また今年度の厳しい財政状況により、従来センターが負担していた会員作品発表会の会場費、事務経費等の予算計上ができなくなり、今年度は発表会の開催を見送らざるをえなくなりました。会員皆様のご理解をお願いいたします。

会員の自主開催は自由

ただ、会員の皆様が自主的に作品発表会を開催することには何の支障もなく、センターとしては、そのようなイニシアチブを歓迎します。(広報部会)

会員旅行は自主 開催で実施へ

従来の「会員研修」としてのバス旅行はなくなりませんが、会員の自主開催による旅行は可能です。センターとしても、今年度はきたる11月をめどに実施する方向で準備を検討しています。

(総務部会)

資機(器)材搬送員 を募集

植木・草取り作業現場への資機(器)材の搬送と処理材撤収作業をする方を募集します。

要件 = 運転免許所有者 10名程度

作業開始 = 6月中旬予定

応募期間 = 4月30日(金)までに事務局へ担当(半田)

(581 8171)

就業調整 それってなに?

当センターが市から委託される仕事に就業希望会員を割り当てること(民間部門は別)。この任務のため設置されているのが就業調整委員会です。理事3名(常務理事 = 事務局長、事業部会長、総務部会長)と地域班長の代表2名で構成されています。就業調整の基本は「就業機会の公平を図ること(同委員会設置要綱)。その第1の選考基準は応募者の待機(未就業)期間の長さ(申込み回数)。最近「適性重視」が言われています。

今年の安全標語を募集します

今年も、事故ゼロを目指し明るい環境作りを目標にした安全標語を募集します。

今年のテーマは

転倒防止

自転車事故防止

としました。奮ってご応募願います。

応募点数

1人何点でも結構です。

応募方法

官製八ガキに地域班名と氏名を記入し、シルバー人材センター安全管理委員会宛、または直接事務局へご持参下さい。

締切日 5月15日

今年是最優秀作品1点、3000円相当、佳作5点、1500円(1点当たり)相当を贈呈します。入選者は5月の定期総会で発表、表彰します。(安全管理委員会)

公園・スポーツ施設関係グループの研修

～就業期限確認書交付式の第2部～

橋本理事(安全管理委員長・統括リーダー)が説明

3月3日行われた就業期限確認書交付式の後半では、4グループに分かれ、各統括リーダーの研修を受けました。公園・スポーツ施設関係では、公園の就業者は5カ所に5名(経験者2名、新人3名)、スポーツ施設は3カ所に9名(経験者1名、新人8名)です。



就業期限確認書交付式で説明を聞く参加者

統括リーダーで安全管理委員長の橋本理事は、合計14名の就業者に対し「就業してまずやることは、職場リーダーに連絡をとることです」と前置きしました。

次いで「今回から配るようにした安全就業基準は文章化して分かりやすくしているので、よく読んで欲しい」とあり、マニュアルも帰ったらすぐに読んでもらいたい」と強調。さらに「新しい会員が多いが、対人関係に注意を払い、コミュニケーションを図ってもらいたい。現場には良いモデルが各所にいるので、よく聞くといい」「モチベーションも従来どおり隔月(偶数月)にします」と語りました。

参加者からは「分かりやすい説明だった」との声がありました。

市実施の特定健診、生き生き健診を受けましょう

誕生月の少し前に、国保に加入している40～74歳の方には「特定健診」、75歳以上の方には「生き生き健診」の受診券など関連書類が市から送られてきます。これらの検診を必ず受けましょう。

問い合わせ先は市の健康課ないし保険年金課です。

お元気ですか

今年2月、70歳以上高齢者免許の更新手続きをしました。更新手続きには、公安委員会指定の自動車教習所の講習会終了証書が必要になります。

講習内容は、シミュレーターでの静止、連動の運転操作、総合的な結果確認、ビデオでの交通事故安全運転の講義、コースを使った運転実技、全体的な評価を得て終了。およそ3時間という長時間の講習でした。

運転歴50年、日頃から安全運転を心がけ、ルールを守る優良ドライバーを自負していましたが、改めて受講すると、実技のときの緊張、加齢に伴う身体機能の低下を自覚したりと、今までの過信を反省させられた次第です。結果は、無事に更新完了ができましたが、今回の貴重な体験により、新たな気持ちでハンドルを握る日々です。

ちなみに、この講習の受講については、私が予約したときには、1カ月先まで満員とのことでした。更新6カ月前より受講できますので、お早目な受講をお奨めします。(山本 寛)